

# 第1章 まなぶ、そだてる ～地域福祉の担い手づくり～

## 第1節 福祉について、学びましょう

### 1 基本施策



### 福祉教育の推進

### 2 現状と課題

- 地域課題の視点に立った福祉教育推進事業や啓発事業が少ない
- 地域の現状や課題の詳細な分析が必要
- 社協と教育現場との情報共有
- 地域で支援を必要としている市民の参画がより求められる

### 3 5年後のあるべき姿（目標）

### 地域課題の視点に立った福祉教育プログラムの構築

### 4 5か年の取組（目標へのステップ）

実施項目	令和4～5年度 (ステップ1)	令和6～8年度 (ステップ2)	令和8年度末の あるべき姿
地域との協働による福祉教育の推進	各地区の生活課題の把握と分析	モデル地区での先駆的プログラムの実施	地域課題の視点に立った福祉教育プログラムの構築
福祉教育推進にかかる広報啓発	SNS（会員制交流サイト）等を活用し、発信力を高める	上記プログラムを広く発信 住民参加を促進	

## 第2節 地域との絆を深めましょう

### 1 基本施策



**地域のネットワークの強化**

### 2 現状と課題

- 地域での見守り活動を現状より増やしたい
- 地域の居場所についての認知度が低い
- 既存の「ふれあい・いきいきサロン」も後継者や参加者が不足している

### 3 5年後のあるべき姿（目標）

**住民にとってより身近な圏域での福祉活動や居場所の充実**

### 4 5か年の取組（目標へのステップ）

実施項目	令和4～5年度 (ステップ1)	令和6～8年度 (ステップ2)	令和8年度末の あるべき姿
小地域でのネットワーク（つながり）活動の強化	住民主体の「ながら」見守り活動の推進		住民にとってより身近な圏域での福祉活動や居場所の充実
地域のニーズに合った居場所づくり	社協が運営する介護・障害各サービス事業所を地域の寄り合い場所として活用	地域住民からの相談窓口としての機能強化	

### 第3節 地域福祉の人材を育てましょう

#### 1 基本施策



**ボランティア活動の支援**

#### 2 現状と課題

- 現在活動中のボランティアの高齢化に伴う活動者の減少
- 新たなボランティア年齢層が働いている世代が多いため活動者の確保が困難
- 地域のボランティアニーズの把握と分析が不十分

#### 3 5年後のあるべき姿（目標）

**新たな地域ニーズに合ったボランティア活動の展開**

#### 4 5か年の取組（目標へのステップ）

実施項目	令和4～5年度 (ステップ1)	令和6～8年度 (ステップ2)	令和8年度末の あるべき姿
支援が必要な市民の困りごとに対応するボランティア活動のしくみづくり	支援が必要な市民が望む活動の把握と分析  地域包括支援センターとの連携	福祉教育プログラムとの連動  困りごとを支えるボランティアの確保・育成	新たな地域ニーズに合ったボランティア活動の展開